

叙 勲

三浦俊治さん(琴浦)に  
旭日単光章

故高橋治一郎さん(鈴)に  
旭日単光章

三浦俊治さん



昭和54年8月に仁賀保町議会議員に初当選以来、3期12年の永きにわたり在職し、この間、議会議長等の要職を歴任。地方自治の確立と住民福祉の向上に多大な貢献をした功績が評価され、旭日単光章が授与されました。

高橋治一郎さん(故人)



昭和42年8月に仁賀保町議会議員に初当選以来、3期12年の永きにわたり在職し、この間、議会副議長等の要職を歴任。地方自治の確立と住民福祉の向上に多大な貢献をした功績が評価され、旭日単光章が授与されました。

手作り昔遊びに挑戦

～子どもの集い～



1月12日、恒例の「子どもの集い」が仁賀保公民館で開催され、仁賀保地域の小学生89人と地域のボランティア講師22人が参加しました。

昔ながらの遊びをいまの子どもたちに体験してもらおうと紙芝居やわら苧づくり、竹トンボづくりなどそれぞれに分かれて挑戦。わら細工では、最初はぎこちない手つきで上手いかなかった子どもたちも、「昔遊びの名人」の親切な指導のもと、すぐに慣れた手つきで数10本にも続く縄を編み上げることができました。

子宝に恵まれますように・・・

～小正月行事「嫁つき」～

象潟地域の大森集落で1月14日、小正月行事の「嫁つき」が行われました。

嫁つきは、集落に新婚夫婦がいる年に行われ、4年連続となる今年は、集落内の富樫真一さん宅で行われました。

集落の小学生男児6人が新妻を囲み、棒で畳をつつきながら、「つつきは今だ」とはやしたて、新婚夫婦が子宝に恵まれるよう願いを込め、儀式が執り行われました。富樫家のお嫁さんの由樹さんは、「大きな声でつつかれてびっくりしましたが、早く子どもを授かりたい」と笑顔で語っていました。



日本の伝統的な遊びを通して

～国際理解チャレンジクラブ～



平成18年度「地域で進める親子国際理解推進事業」の一環として国際理解チャレンジクラブが1月13日、金浦勤労青少年ホーム軽運動室で親子、指導員ら36人が参加し行われました。

県内15市町村が進めているこの事業は、人材活用と地域教育力を発揮させることが目的で、シリーズ10回を迎えた今回で終了となりました。

お正月ということもあり、日本の昔あそび「ふくわらい、コマ回し、すごろく」で楽しみました。その後、もちつきを行い、自分たちでついたモチにきな粉やあずきなどを付け、おいしそうに食べていました。

受賞おめでとうございます

社団法人

全国体育指導委員連合表彰

30年勤続体育指導委員表彰

30年という永きにわたり、体育指導委員として地域に尽力くださいました。



三浦 一義さん (冬師)



中津 博行さん (新町2区)

気持ち新たに書を楽しむ

～新年書き初め大会～

1月9日、金浦コミュニティセンターで、毎年恒例の「新年書き初め大会」が開催されました。

今年の書き初め大会は、お年寄りや若い方が参加する中、数十年ぶりに筆を持ったという方もいて、はじめは遠慮がちだったものの次第に力強く生き生きとした筆運びになりました。

緊張感の中にも和やかな大会となりましたが、大会に初めて参加した方も毎年参加している方も、書き初めを通して、今年1年を新たな気持ちで望むスタートとなった大会でもありました。

